

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	プラザ館運営管理事業				会計	款	項	目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター					
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり			主管課長	糸井 正人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	ごみの減量・資源化の拠点として、資源化の啓発並びに市民のリサイクル活動の推進を図り、循環型社会の形成に資する。
事業内容	ごみの減量・資源化の促進を図るとともに、啓発・普及のための講座や講演会等を開催することにより、より一層のごみの減量化・資源化を図るための啓発拠点として運営管理を行うもので、施設の円滑な運営と安全性を確保することにより、市民に快適に利用していただく。			
事業開始から現在までの状況変化	平成16年度よりごみの減量・資源化の啓発拠点として、研修室や工芸室を設けて、広く体験学習や実践行動する場所を提供している。年間を通して石鹼づくりや洋服のリサイクルなどの各種講座を開催し再生品の有効利用やごみの減量化に対する啓発を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	講座（教室）開催数	72	67	70	回	↑↑↑
②	再生家具販売件数	395	457	539	件	↑↑↑	
③	再生自転車販売件数	150	150	150	台	→→	
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業の総コスト(a=b+c)	18,385,543	17,252,105	15,482,492	リサイクル講座を実施、また再生品を販売することにより、市民にごみ減量についての啓発を行っている。			
事業費(b)(円)	9,511,183	9,042,745	7,426,132				
うち一般財源	9,511,183	9,042,745	7,426,132				
職員給与と費(c)(円)	8,874,360	8,209,360	8,056,360				
人役・職員(人)	1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)	2.00	2.00	2.00				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき		効率性	対象者の適切性
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	講座の募集を電子申請を活用し、応募者の利便性を図る。	③取組の課題	研修・講座等の参加者は、女性や高齢者の方が多いことから老若男女が参加できるような創意工夫が引き続き必要である。
②今年度(H29)に実施した取組	市民の利便を図り、電子申請に取り組んだ。	④今後(H30以降)の改善計画	ガレージセールや各種イベントとの同時開催するなど受講者数の増加に努めると共に、新たな講師による講座を展開していく。